

／さらに／ 装飾をひもとく



オーキッドプレス人形町ウエスト 設計 坂倉雄策研究所+アーキオン建築研究所, 1989年竣工



丸石ビルディング 設計 山下野郎建築事務所(現山下設計), 1931年竣工

日本橋の建築・再発見

2024.9.14土 — 2025.2.24月・休 高島屋史料館TOKYO 4階展示室 入館無料

開館時間 10:30-19:30 休館 月・火曜(祝日の場合は開館), 年末年始/12月30日(月)～1月2日(木)

主催: 高島屋史料館TOKYO | 監修: 五十嵐太郎(東北大学大学院教授) | 協力: 菅野裕子(横浜国立大学大学院特別研究教員)
グラフィックデザイン: 原田祐馬, 岸木麻理子(UMA/design farm) | 展示デザイン: 大熊敏佳, 佐々木一憲, 村越怜(analogue)
スタンプラリーイラスト: 宮沢洋(BUNGA NET) | 担当学芸員: 海老名熱実(高島屋史料館TOKYO)

高島屋史料館
TOKYO

さらに/ 装飾をひもとく

日本橋の建築・再発見

今回の企画展は、「装飾をひもとく～日本橋の建築・再発見」展（監修：五十嵐太郎，2020年9月～2021年2月開催）の続編として開催するものです。

前回の「装飾をひもとく」展では、それがきっかけとなり、日本橋地域のタウン誌『月刊 日本橋』にて、五十嵐太郎氏による「日本橋の建築装飾」の連載が開始されました。この連載は、すでに4年目に突入し、45回を超える人気コンテンツとなっています。この度の展示では、この『月刊 日本橋』におけるこれまでの連載を参照しながら、前回対象とした地域（中央通り沿い）を、さらに広げてみたいと思います。例えば、今回は当館から徒歩約10分圏にある、渋沢栄一ゆかりの地で、新紙幣の発行で盛り上がる兜町エリアにも目を向け、山二証券（1936年）やKABUTO ONE（2021年）などの建築をご紹介します。また今回は、取り上げる建築が多岐にわたる点も特徴の一つです。いち早く近代化を遂げた日

本橋は、日本銀行本店本館（1896年）や三井本館（1929年）などに代表されるように、古典主義の影響が強い街並みとして知られていますが、今回は、中世風の佇まいをもつ丸石ビルディング（1931年）や、厳格な古典主義とは異なる光世証券兜町ビル（1999年）、さらには、看板建築、ポストモダン、都市のレガシーを引き継いだリノベーション建築、そしてインテリアまで、幅広い建築装飾に注目いたします。加えて、前回、ハンドアウトとして大変好評をいただいた「日本橋建築マップ」も、今回は「日本橋高島屋S.C.装飾スタンプラリー」の要素を入れて、パワーアップする予定です。

本展は、当館の展示会場を出てからが本番です。マップを片手に、オリジナルの建築群をめぐるってください。日本橋の街そのものが、拡張した展示会場として立ち現れることでしょう。



1. ハリオグラスビル (HARIO 株式会社本社)，設計：川崎野村建築設計，1932年 | 2. (左) 山二証券，設計：西村好時，1936年 / (右) フィリップ証券，設計：西村好時，1935年 | 3. 武田グローバル本社のインテリア，空間クリエイティブディレクション：佐藤可士和，インテリアデザイン総合監修・インテリアデザイン：SAMURAI，2018年・2023年（撮影：太田拓実） | 4. 四ッ折々 赤い鯉 人形町店 | 5. キャナルタワーの階段，設計：竹山建築設計総合研究所，1989年 | 6. 光世証券兜町ビル，設計：永田・北野建築研究所，1999年 | 7. KABUTO ONE 超大型ディスプレイ The HEART，コンテンツデザイン：齋藤精一（アブストラクトエンジン），ハードウェアデザイン：NOIZ，総合プロデュース：電通ライブ，2021年
* 撮影者の記載がないものはすべて撮影：五十嵐太郎



ここでしか手に入らない！
日本橋高島屋 S.C. 装飾スタンプラリー & 日本橋の建築・再発見！マップ

タブロイド判ハンドアウトを展示会場で配布します！

本展監修の五十嵐太郎さんによる詳細なテキスト解説と、建築ネットマガジン「BUNGA NET」主宰の宮沢洋さんによる愛らしい建築イラストでできた、本展特製マップです。さあ、マップ片手に、日本橋高島屋 S.C. 店内へ、そして日本橋の街へと、建築装飾をめぐりにお出かけください。



会期中、トークイベントの開催を予定しています。
詳細が決定次第、当館 HP/SNS でご案内します。
※イベント内容が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください

- 佐藤可士和 (SAMURAI, クリエイティブディレクター)
× 五十嵐太郎 (東北大学大学院教授，本展監修)
- 菅野裕子 (横浜国立大学大学院特別研究教員，本展執筆協力)
× 五十嵐太郎
- 宮沢洋 (BUNGA NET 代表兼編集長，本展スタンプラリーイラスト画)
× 五十嵐太郎



高島屋史料館 TOKYO

東京都中央区日本橋 2-4-1
日本橋高島屋 S.C. 本館 4・5 階
※5階旧実業室は、対面でのイベント開催時のみ開館



アクセス
・JR「東京駅」八重洲北口から徒歩5分
・東京メトロ 銀座線・東西線「日本橋駅」直結
・都営地下鉄 浅草線「日本橋駅」から徒歩4分

※駐車場は大変混雑しております。ご来館の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

